令和2年度の主な取り組み

新総合計画がスタートした令和2年度は、本市が10年後に目指す姿「みんなが笑顔 住みやすいまちえびな」の実現に向けた施策を進めました。道路整備や公共施設の大規模改修工事の実施、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける地域経済の活性化に向けたプレミアム付商品券の発行など、ハード・ソフト両面にわたり住みやすいまちづくりを力強く推進しました。

充実して暮らせるまち

防犯灯LED化整備事業 6000万円

市民の安全を守る防犯灯のLED化を推進し、環境負荷の軽減と維持管理費用の削減を図りました。

健やかに暮らせるまち

福祉法人設立準備会の設置 20万円

障がい者の暮らしと自立を独自にサポートする「福祉法人」の設立に向けた準備会を設置し、基本方針や事業などの検討を行いました。

高齢者・中学3年生のインフルエンザ予防接種助成 1億1400万円

インフルエンザの集団感染や重症化予防のため、予防接種費用の助成を行いました。

勝瀬保育園民営化、門沢橋保育園給食調理業務委託 1400万円

勝瀬保育園の民営化に向けた移管先の選定や、門沢橋保育園の安定的な給食調理体制作りに取り組みました。

にぎわいがあり自然に優しいまち

プレミアム付商品券発行事業 18億2100万円

市内店舗で使用できるプレミアム付商品券を発行し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市民生活を支援するとともに、地域経済の活性化を図りました。

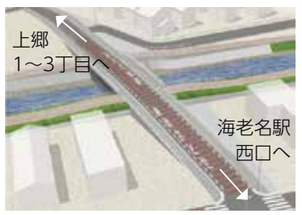
便利で快適に暮らせるまち

(仮称)上郷河原口線アプローチ部の工事着工(継続事業) 3600万円

海老名駅周辺道路の円滑化と利便性向上のため、(仮称)上郷河原口線のアプローチ部などの関連道路を整備しています。

市道62号線延伸事業の推進(継続事業) 4800万円

海老名駅西口地区のアクセス性向上のため、鳩川に橋を架けるなど、市道62号線の延伸を進めています。



完了イメージ

厚木駅南地区市街地再開発事業の推進 5億6800万円

厚木駅南地区市街地再開発組合に補助を行い、良好な都市基盤と住環境の整備を推進しました。

豊かな学びを育むまち

今泉小学校増築工事(継続事業) 8200万円

今泉小学校の児童数増加による教室不足を解消するため、校舎の増築工事に着手しました。

有馬図書館・門沢橋コミセン大規模改修工事 7億3400万円

隣接する有馬図書館と門沢橋コミセンの一体的な活用に向けて大規模改修工事を行い、来館者の利便性向上を図りました。

GIGAスクール構想の実現 5億8500万円

学校教育の情報化を推進する「GIGAスクール構想の実現」に向けて、市立小・中学校の児童生徒1人1台のタブレットと、高速大容量の通信ネットワークを整備し、学校ICT環境の充実を図りました。

安全で安心して暮らせるまち

今里出張所長寿命化工事 1400万円

老朽化した給油施設を適正に維持するため、改修工事を行いました。

消防署西分署整備事業(継続事業完了) 5億2100万円

海老名駅西口地区や駅間開発によって活性化した商業と、人口の増加に伴う消防・救急需要に対応するため、消防署西分署を開署しました。

水難救助用ボート・検知警報器等整備 900万円

風水害発生時に活用できる水難救助用ボートや、化学テロ発生時などで物質検知可能な検知警報器などを整備し、消防・防災力の強化を図りました。

かがやきを創造するまち

RPAシステムおよびAI-OCRシステムの導入 100万円

RPA(ロボットによる業務自動化)とAI(人工知能)の自動読み取りシステムを導入し、定型的業務の省力化を図りました。

自動音声電話催告システムの導入 200万円

自動音声電話案内システムやSMS(ショートメッセージサービス)を導入し、税の未納者に対して催告することで、収納率向上を図りました。

新たな発見ができるまち

市制施行50周年記念誌の作成(継続事業) 200万円

市の歩みや歴史・文化・魅力などを後世に残すため、市制施行50周年記念誌の作成を進めました。

ふるさと納税をすると市の税収が減少します

「ふるさと納税制度」は、応援したい自治体に寄付をすることで返礼品がもらえ、住民税の税額控除が受けられる制度です。市民が他の自治体に寄付をすると、市の税収が減少します。

ふるさと納税による減収額は年々拡大し、平成28年度は5700万円でしたが令和3年度は3億3400万円に達する見込みです。

ふるさと納税による減収は、市の行政サービスの提供に影響を及ぼす可能性があります。他自治体へふるさと納税をする前に、もう一度考えてみませんか。